

## 第IV部 県政への自由意見



## 県政への自由意見

質問の最後に、県政に対しての意見、提案などを自由に記述してもらったところ、回答者1,382人のうち、23.6%に相当する326人から多岐にわたる意見が寄せられた。

### (1) 安全・安心

- 防災対策、特に河川の整備を進めてもらいたい。理由は、土や草が生え、盛り上がったところが多く雨が降った時にあふれるおそれがある。少しでも土砂や草などを取り除けば多少は水があふれるのを防止できるのではないのでしょうか。(湘南・男性・50歳代ほか類似意見2件)
- 米軍基地の存在(事故・汚染・騒音など)に不安を感じています。基地の縮小・撤廃に力を入れてほしい。(相模原・女性・30歳代ほか類似意見2件)
- 子どもたちが安全に過ごせ、高齢者が安心できる世の中になってほしいです。(横浜・女性・20歳代ほか類似意見2件)
- 防災無線の音が飛んでよく聞こえない時があるので、もう少し精度を上げた方が良いのでは。(県央・女性・40歳代ほか類似意見1件)
- 現在の生活に満足しています。これからは天災、人災、国際紛争(特に北朝鮮、中国、ロシア)の防止に留意して下さい。(川崎・男性・75歳以上ほか類似意見1件)
- 安全安心な生活を維持できるよう、努力をお願いします。真面目な人が報われる社会に、怠慢者には厳しく接してほしい。(川崎・男性・40歳代)
- 警察への積極的な進言。(歩きスマホ・駐車違反・年寄りの自転車・ホームレスの空き缶自転車満積)その他パトロール。(横浜・女性・60歳代)
- 県警の働き方に不満がある。犯罪の検挙率が非常に悪い。悪事を働く警官が多い。(県央・男性・75歳以上)
- 自転車の乗り方が危ない人が多い。自転車の逆走、斜め横断、歩道を(細い所も)勢い良く走りぬける等、マナーが悪い。原付のようにルールを学んでから走れるようにすればよいのと思います。小学生や、幼児でも乗れてしまうので、ルールを知らない人が多い。(湘南・女性・30歳代)
- 基地の飛行機騒音をなくしてほしい。(横浜・男性・60歳代)
- 北朝鮮によるミサイル恫喝など国の安全保障が脅かされる中で、朝鮮学校保護者への補助金支給、ヘイトスピーチ抑止など、偏った姑息な事象が目につく。アンケートにも恣意的な質問がみられる。国県民の安全・権利の維持を第一に考えていただきたい。オリンピック開催を控え、対テロ対策、訓練などは全く考えられていないのだろうか。(横浜・男性・50歳代)
- 治安維持、子育て支援、青少年の健全育成については予算を惜しまず確保して整備していただきたいです。(川崎・男性・40歳代)
- 今夏も近所の海水浴場に数度足を運びました。仕事の都合で土・日の夕方に行くことが多かったのですが、事前に海水浴場の状況をインターネットで確認してから出かけるようにしています。(遊泳禁止・注意・可等)。あわせて波の状況を確認するため、私設のサイトでライブカメラを視聴したのですが、中には故障しているものなどもあり、リアルタイムで適切な確認ができないことがありました。そこで県や市で気軽に確認できるライブカメラなどを設置してもらえると大変助かります。(湘南・男性・30歳代)
- 弾道ミサイルの避難訓練が大和市では行われていません。避難が無駄だとしても、知らない

より知っておきたいと思っております。(県央・女性・40歳代)

- 青少年の育成に関する項目があったが、モラルや社会性の低い大人が多い社会・地域であるのがとても残念。青少年育成だけでなく、大人のモラル向上への啓発などを積極的に行ってほしい。(例：駐車違反、大声でさわぐ、ゴミ出しのルール等) また、歩きたばこは、条例で禁止するようにしてほしい。(横浜・男性・40歳代)
- 駅前の飲食店の客引きの態度が悪く、通行に支障があり、また、コンビニの外の灰皿に人だかりができていて通行に支障があり、受動喫煙も気になるのですが、このようなことを相談できるところがあるのかわからないです。(横浜・女性・40歳代)
- 外国人と言っても、在日や中国等の不法移民を含めて考えるのはよくないと思う。正規に入学し、適正なビザ許可事項を守って神奈川県で働くなどする外国人には手を差し延べてよいと思う。(横浜・男性・50歳代)
- ソーラーパネルの設置を進めてほしい。特に災害時、避難所になる可能性のあるところを優先的に。避難時に電気が使えるのと使えないのとでは、物理的にも精神的にも大違いだと思う。(横浜・女性・50歳代)
- インターネット犯罪に対してのセキュリティや具体的な防犯指導等が必要なのではないでしょうか。(横浜・女性・70～74歳)
- 信号黄色でも止まらず走行し、歩行者の信号が青になってから通り過ぎる車が多々あります。また、横断歩道で立っている人がいても、止まらない車が結構多いです。(湘南・女性・60歳代)
- ここ数年、思いもよらない災害が多いと思っています。各家庭はもちろんのこと、県におきましても備えと対策をよろしく願いいたします。(横須賀三浦・男性・75歳以上)
- 自転車などに鍵を閉め忘れてしまうと翌朝には盗まれています。持ち主の不注意もありますが、人として当たり前のことを学ぶ教育環境があまり整っていないのではないかと思います。教育環境を整備する分野にも力を入れていただきたいです。(横浜・女性・30歳代)
- 国際観光都市に相応しい繁華街にしてください。中核都市の繁華街では、汚なさはトップクラス。違法・迷惑駐車、ポッタクリや違法カジノの横行など、県民として恥ずかしいです。(横浜・男性・50歳代)
- 今後、オリンピック等が開催される中で、国際テロが懸念されます。そのため、治安対策の更なる強化(警察官の増員、警察署・交番の整備、装備資機材の拡充等)が必要だと考えます。(横須賀三浦・男性・30歳代)
- 安心して夜に歩けるまちにしてください。お願いします。(相模原・女性・20歳代)
- 身体を作る上で大切な安全な地元の野菜がもっと身近に手に入るように、皆がもっと食品の大切さ・安全性について高い意識をもってほしい。目に見えるものではなく心の平安・他者への思いやりを持てる生活の余裕、お互いの助け合い。神奈川県民の皆が人との温かいつながりを大切にすると県民となれるとすばらしい県になると思います。(横浜・女性・40歳代)
- 県警察はもっと悪質(明らかなスピード違反や暴走など)な交通違反の取り締まりに力を入れてほしい。(横浜・男性・40歳代)

- 異常気象、地震や大雨、避難場所、ライフライン等の地域情報が適切にわかるような方法を検討してほしい。ネット環境がない人もいるし、活用の仕方がわからない人もいる。(川崎・女性・60歳代)
- 近所の子どものスクールゾーンにおいて、通り抜けの車がとても多く、危険で困っています。時間帯によって通行止めにするなど、市に伝えることで迅速に対応してもらえるようにしてほしいです。近くにある大きな道が毎朝渋滞していることによって、通り抜けが発生している面もあるので、主要な道路の渋滞改善にも取り組んでいただきたいです。(県央・女性・30歳代)
- 子育て支援、教育の充実は結構なことではあるが、経済的理由から子を持たない世帯も多い。子どもを育てることが偉いという風潮から行政も当該支援に力を注いでいるように思える。今生きている県民の生命・財産を守ることにもっと目を向けて、災害対策や、医療の充実、犯罪対策等に力を入れていただきたい。(横浜・男性・30歳代)
- 心痛な事は、少年犯罪の残酷化、政治家・教育者・警察官の質の低下、言葉遣いの悪さ(特に女性)。すべからず、幼時期の教育・しつけの劣化と思う。県をあげて美しい言葉(日本語)、弱者への思いやりの心、人として良心に恥じない行いを勇気をもって行う心を根底に教育をお願いいたします。(横浜・女性・75歳以上)
- 東日本大震災のガレキを県内で処理しなかったのは、県民として不満でした。(横浜・男性・60歳代)

## (2) 健康・福祉

- 高齢者を抱える身としては、病院に通うことになるのでは、施設にお世話になることもあるのでは、と今から不安に思うことも多いので、高齢者の福祉対策の充実をお願いしたいです。(横浜・女性・40歳代ほか類似意見2件)
- 高齢化社会が進む中、特養老人ホームの受け入れ人数、施設の数が足りません。自宅で介護する人のサポートを充実させてほしい。周囲にも不安をかかえる人が多く、地域が一帯となり解決していくべきだと思う。(横浜・女性・20歳代ほか類似意見1件)
- 福祉に対する不公平を感じています。ちゃんと働いている人の方が税金をしっかりと納め、生活はきつく経済的にも精神的にも大変な生活をしているのに、生活保護、子ども手当を上手く使って働かずに生活をしていけるのはどういふことでしょうか。医療費や交通費の免除など納得できない人たちが多すぎます。そして働かずに税金で暮らしている中国人、外国人への援助はどうなっているのですか。理解に苦しみます。福祉とはどういふことでしょうか。納得できる答えがほしいです。きちんと調査をしてほしいです。(横浜・女性・40歳代ほか類似意見1件)
- 生活保護を本当に必要な人に支給する仕組みが欠けていると思う。介護保険でも、生活保護の人には無制限のようなサービスが行われているのはどうかと思う。働ける人は働くべきだと思う。まじめにやって貧しいままというような悲劇はみたくない。「優雅な」生活保護の人達がいることを、行政は把握していますか。(横浜・女性・50歳代ほか類似意見1件)
- 高齢者より将来のある若い人達への施策の充実を望みます。福祉のバラまきで財政のひっ迫を心配しています。(横浜・女性・70~74歳ほか類似意見1件)
- 神奈川県内での歩きたばこ禁止条例の制定。(横浜・男性・50歳代ほか類似意見1件)
- 障害者を持つ母子家庭の奨助について、財源の差があるものの横浜市は東京都と比較してす

こぶる悪い。早期に改善されるべきと考える。また、障害者を受け入れている学校関係への補助も少なく、優秀な教員の確保も困難とみている。神奈川県、横浜市の将来像を具体的に開示し、県民・市民との接点を増やすことが肝要と思う。(横浜・男性・70～74歳ほか類似意見1件)

- 人口減少が進むなか、高齢者の活用が必要です。定年後の方々を活動させるべきである。健康年齢を延伸し、具体的に地域で活用するべきである。シルバー大学の設立。(横須賀三浦・男性・75歳以上ほか類似意見1件)
- 県民へのサービス充実はありがたいし、重要と考えるが、医療の無償化はよくないと思う。「無料」だからと軽症でも医療機関を受診する人が多く、税金の無駄使いにつながり、また、本当に具合の悪い人を待たせる。腹立たしい。暇な人ほど医者に通い、汗水流し血税を払い忙しく働く勤労者は我慢して軽症では受診しない。無料はやめて最低数百円程度(100円～500円)は誰からでもとった方がいい。(横須賀三浦・女性・40歳代)
- 介護に携わる職員が非常に少なく、介護を満足に行える状況にありません。介護の担い手も減少傾向となってきています。低所得重労働であり健全な仕事とは言えず、高齢者の命を預かるという重責に対し満足できる待遇を受けられません。待遇改善をお願いします。介護人材の確保のため、福祉科の高校で卒業までに介護に必要な技能を学べる環境を整備してほしい。(横浜・男性・40歳代)
- 一人親家庭向けの生活支援が手薄だと思います。県民が自ら町を良くして自発性を高めることが防犯、エコ、教育全てにつながると思います。ネットなどで広く人材を募集し、ある程度の謝礼を用意し、継続できる活動をデフォルト化すべきです。(相模原・女性・30歳代)
- 公園は戸外であっても子どもや老人等の憩いの場所であるので全面禁煙にしてほしい。飲食店での喫煙について[酒場]と[飲食店]の区別をしっかりと決める。酒場(未成年者は入店しない)は喫煙OKにする。そして飲食店は全面禁煙としてほしい。神奈川県の禁煙条例はザルに思える。ただ、働く人のことを考えると全面的に禁煙の方がよいのかもしれない。(川崎・女性・50歳代)
- 年金が下がり、物価は上がり、介護保険も上がり、暮らしていくのが大変です。また、老老介護が不安です。老人ホームは入りやすい金額と困った時に入所しやすいと良いです。自宅介護は大変です。(横浜・女性・60歳代)
- 以前、休日病院に行く時、近くの大学病院に診察を申し入れたところ、休日診療所を勧められました。障害があるため健常者のようにきちんと症状を的確に伝えられないことを伝えても診察を拒否されました。手術や入院等もこの大学病院で受けたにもかかわらず診察後、期間が半年経っているからと受付もしてもらえず休日診療所へ。今回は何事もなく済んでよかったと思う反面、もしも診察を受けられず悪化していたらと思うと病院への不信につながりました。大きな病院の診察拒否が正しいのか、これから先も不安です。(横浜・男性・50歳代)
- 東京都にならい、子どもの医療費負担の軽減を希望します。(川崎・女性・50歳代)
- 子育て中の人ばかりでなく、介護中も支援をしてほしい。産休・育休があるのに、介護の人には何も無いのでは。退職するしかなく、生活に困る方々の特集を見ると、シングルマザー等より介護中の方のほうが優先度は高いと思う。働き手としては子育て中の人でも介護中の人でも戦力ではなくなくなってしまうので、残された人に負担がいく現状にもとても困っています。休む人の分はきっちり人員を補充してほしい。(横浜・女性・30歳代)
- たばこは吸わないけれど、禁煙ではなく分煙にして下さい。たばこ税が入らなくなると、違

う税金が上がるから。また、歩きたばこが増えるから。(県西・女性・40歳代)

- 日本国籍を持った人以外の生活保護は即刻停止していただきたい。(横浜・男性・30歳代)
- 救急救命のドクターヘリ等のさらなる配備を考えてもいいのでは？(横浜・男性・30歳代)
- 私は聴覚過敏という障害を持っていて、道路を走る大きなトラックの音や電車の音が大変苦痛です。最寄駅の工事の音は仕方のないことかもしれませんが、放送音や選挙活動時の拡声器を使う演説や選挙カーはどうにかならないでしょうか。福祉の充実をうたう候補者がそのようなことをしていると、この人は本当にそう思っているのかと疑ってしまいます。私は日によってはセミの鳴き声も苦痛に感じるほどで、日中の外出はあまりできませんが、自宅にいと近所での建設工事の音もしたりして、耳栓なしでは生きられません。毎日辛いです。どうかしていただきたいです。よろしくお願いします。(横浜・男性・40歳代)
- 今後10年位で弱者に気を配った、住みやすい街になったら良いと思います。(湘南・女性・70～74歳)
- 津久井やまゆり園の今後について、小規模多機能型の全国のモデルとなるようなグループホームの立ち上げなど検討してほしい。併せて人権教育を推進してもらいたい。(相模原・男性・20歳代)
- 健康等の情報は十分にあるが、県民自身が実践していないと思う。私の周囲には市の講座に参加して良い話を聞いて来た人が多数いるが、その後、栄養面、スポーツ面で行動している人はいない。良い情報でも、知識としてあるだけで実行に移さなければ意味がないと思う。(川崎・男性・60歳代)
- 神奈川県は、知的障害者施設で働く介護職員の待遇改善について、事業者への関与はできるのでしょうか。また、県は、高齢者施設で働く現場職員の待遇改善についても、許認可した施設への関与はできるのでしょうか。私が見聞した高齢者施設では、経営陣と現場職員の格差が目につきました。(県西・男性・70～74歳)
- 医療をよりよくするために医師・看護師以外の職種（薬剤師など）をより活用していくべきと思います。OTC医薬品の活用や薬局の活用、薬局でのワクチン接種などを特区制度を試していってもよいのではないかと考えます。(横浜・男性・20歳代)
- 認知症対策を充実させていただきたい。介護の中でも介護する側の精神的、身体的負担が最も多く、ダメージが大きいです。(徘徊してしまうため、24時間目が離せない。)介護者が助けを求めようにも制度等が整っていません。介護される側の人権を守りたいので、介護する側は精神的にも身体的にも、病気になります。経済的にも不安が多いです。何かあれば介護者の責任が問われる。不安しかありません。(県央・女性・50歳代)
- 高齢化や障害のある方々への対策、これは県ではなく国にもっともっと考えてもらうべきことと思っていますが、県にお願いしたいのは様々な問題で困った時に相談できる機関や窓口等をもっとアピールしていただきたいです。先月10年近く介護してきた父が亡くなりましたが、この介護の時にどうすればよいかわからないことが多く、大変困ったのでそう思いました。(横浜・女性・50歳代)
- 高齢化社会への対策をよろしくお願いします。お年寄りによる交通事故の予防・対策、医療施設の充実、空家や外国人増加に対する治安維持、シニア層の交流の場を増やすこと及びシニア層の社会参加ボランティア（小さな子ども（幼児、保育園児～学童）と関わるもの。例えば、学校や子育て施設とつながる場所にシニア層の交流場を設ける等。)(川崎・女性・40歳代)

- 119 番をしたら、“ただちに” 病院へ運んでほしい。搬送遅れで、生命を落とす人がかなりいます。救急隊員には“我々は、患者運搬人ではない” といばる人が、かなりいます。これが現実です。(湘南・男性・60 歳代)
- 高齢者対策について、孤立した高齢者への支援・見守り、施設の場合、介護従事者の質の向上、待遇などみていただき、職員の離職原因を分析してなぜ人が来ないのか、なぜ辞める人が多いのか、真剣に改善に取り組んでほしい。(川崎・女性・60 歳代)
- 知的障害の息子がいます。親亡き後の息子の将来がとても気がかりです。グループホーム又は施設が沢山あればと思います。(湘南・女性・50 歳代)

### (3) エネルギー・環境

- アパート等の集合住宅には専用のごみ集積場所を設置する条例の制定。(横浜・男性・50 歳代)
- 県西地域の「自然保護や緑の保全」の名目による自然破壊の活動をやめてほしいです。(県西・男性・50 歳代)
- ごみのポイ捨てが多く、公園に行ってもたばこやゴミが散乱しています。公園でも安心して遊べる環境になればよいと思います。(川崎・女性・30 歳代)
- 人口減少の今、山、森林を削っての宅地開発が本当に必要なのでしょうか。今後のゼネコン等の利益発展は新しい方向性を見出した方がよい気がします。(横須賀三浦・女性・40 歳代)
- ゴミ捨ての分別・簡易化・省力化(湘南・男性・50 歳代)

### (4) 県民生活

- 昔のように、地域が交わる場所が少なくなっているため、隣の人もわからないような感じがある。イベントや交流の場がもっといろいろあると、子どもやお年寄りにも目が届くのでは。(湘南・女性・30 歳代ほか類似意見 2 件)
- 神奈川県は横浜市・川崎市・相模原市以外は、不便。県央地区在住だが、同じ県内なのに、横浜に行くのに、どの道を使っても遠いし、混む。住人の意識が高く、環境も充実している地域とそうでない地域の差が激しいと思う。(県央・女性・40 歳代ほか類似意見 1 件)
- 神奈川県は適度に都会でありながら自然にも恵まれているので便利で住みやすいと思います。(横浜・女性・50 歳代ほか類似意見 1 件)
- 今回改めて「県」を考える機会となりました。横浜市の中央に住んでいると、箱根に近い所に住まれている方との要望の違いはやむを得ないと思いますが、人を育ててほしいです。そして、女性や若者の経済的な自立を支援する施策をお願いしたいと思います。古い感覚のままの年配者、自分中心になってゆく年寄りの“再教育”の機会も必要かと。(横浜・女性・60 歳代)
- ” うっ” や “いじめ” が意外と表に出てきた際に “幸いわかりやすく出てきただけ” と捉えて、“本当に深刻なものは表に出てこないもの” として対策するなら、しっかりやるべきだと思います。(県央・女性・40 歳代)
- もっと 1 人暮らしの人をケアしてほしいです。(相模原・女性・70~74 歳)
- 政令市に住んでいると、市政と県政の境界がわからない。県の存在がとても薄く感じます。(川崎・男性・70~74 歳)
- 青葉区青葉台にコミュニティの場を作してほしい。いろいろとスポーツ等に参加したいが、青葉台にはなく、人数に制限があり、参加できないのが残念です。市ヶ尾にはありますが、



遠くて行けません。(横浜・女性・60歳代)

- いじめは許せません。地域のお年寄り等が子どもたちに命の大切さや、道徳を教えて下さればよい。また、学校で困ったことや両親に相談できないことがあったら電話できる電話番号(いのちの電話など)を書いて学校の廊下に掲示して下さい。命は大切です。

(横浜・女性・60歳代)

- 市営住宅に住んでいます。収入が増えたり、周辺の賃料に合わせて、値上りするが、住宅は古いままなので周りと同じような家賃を支払うのはどうかと思います。一向に貯金も増えず、市営住宅から出たくても出られません。貧困の差が無くなってほしいです。

(横浜・女性・40歳代)

- 元気な高齢者が活躍し、お互いに役立つ場や仕組みを作っていく。(横浜・女性・60歳代)
- 子どものいじめ、親からの虐待などで大事な子どもたちを亡くすことのない世の中にしたいです。みんなで守って気づかう精神を育てる世の中、学校、家庭になる神奈川県を目指して下さい。(横浜・女性・60歳代)

- 低所得者でもゆとりのある生活が送れるようにしてほしいです。(県央・男性・50歳代)

- 安心して生活ができる世の中になること、困った時に相談できる窓口をもっとわかりやすく、気軽にできればいいなと思います。(湘南・女性・30歳代)

- 県にはベ이스ターズやマリノス、ベルマーレやダイナボアーズといったプロスポーツチームが数多くあるのだから、彼等と協力してのスポーツイベントをもっと企画してもよいのでは。(横浜・男性・30歳代)

- 住民が全体的に高齢化しているため、町内会、自治会のボランティアでの役員活動が難しくなっています。順番なので数年に一度回ってきますが、旧態依然としたままで、例えば赤十字の毎年恒例の街頭募金(各町内会、自治会でまとめて寄付しているのに)の押し付け。消費生活推進委員もしかり、環境委員と活動内容がかぶっているようなこともあります。行政の方でもう少し見直していただきたいものです。高齢化のため、若い人に押しつけるのも気の毒です。生活のため、仕事で一杯一杯なのにと不満です。会長もなり手がいないので、会員から手当を出していますが、行政で手当を出して下さい。(横浜・女性・60歳代)

- 安全・安心のまちづくりのための地域活動への参加には関心はありますが、年齢と体力を考えて、ためらってしまいます。(相模原・女性・70~74歳)

- 神奈川県には、LGBTやフェミニズム、国際問題や同性婚など、“新しい価値観”についてどこの県よりも理解がある。日本の価値基準や世の中の流れをリードする存在でいてほしい。特に女性の社会進出や性差別について敏感であってほしい。そうすることで、県のブランドを高められると思うし、マイノリティーに理解を示すことで、より進歩的な発想を持つ地域として存在感を発揮できると思う。ゆくゆくは、世界的に名が通る革新的な県になってほしい。特に女性は月経、妊娠、出産という人間社会を維持する上で不可欠な負担を負っている。その点で男性は完全なフリーライダーであることを理解し、より社会的な負担を負うべき。平均の給与が男性が女性より多いことも矛盾に感じる。(川崎・女性・30歳代)

- 神奈川県は、これからより一層大勢の外国の方をお迎えすることになるでしょうから、そのための県民意識の向上やインフラの整備が必要になると思います。

(横須賀三浦・男性・75歳以上)

- 横浜が世界に開かれ、観光客で賑わうことも重要ですが、長く住んでいる者としては外国人の増加がとても不安でオリンピックも含めてテロなどが心配です。県民、市民を第一に考えてほしいです。(横浜・女性・50歳代)
- 40代以上のひきこもりの支援。相談できる場所(無料)の数を増やしてほしい。(横浜・女性・40歳代)
- 横浜市に住んでいると、神奈川県に行っていることが目立たない。(横浜・男性・30歳代)
- 新聞購読を中止したら、県及び市の広報誌が届かなくなり市に連絡した。別配で手元に届くようになったが、県では放置のまま。対応を。(相模原・男性・60歳代)
- 現在の住まいに非常に満足していますが、このままこの町に住み続けられるか不安です。子どもを産んだら、きちんと子どもを育てる環境に身を置けるのか。仕事を辞めざるをえなくなった場合、大好きなこの町に住み続けられるのか。横浜市は地価が上昇しているので、バス便が充実すればもっと住みよくなると考えています。(横浜・女性・20歳代)
- すべてのことがわかりやすく、みんなに得になる情報を発信して行ってほしい。(横浜・女性・60歳代)
- 歩きたばこ、たばこのポイ捨て及び傘の柄を持つことは、危ないと思います。喫煙所や街角の灰皿がなくなっているのは逆効果だと思います。傘の持ち方は、駅の階段やエスカレーターでいつも怖いと思います。まち並みをきれいに安全にするために、基本的なマナーを指導してほしいです。(横浜・女性・30歳代)
- 私が小学生の頃は、横浜市歌を徹底的に歌わされ、いつの間にか、横浜市歌をととても好きになり、しっかり暗唱できるようになっていました。数年前子どもが小学校を卒業する際、横浜市歌を参列者も歌うとき、スラスラと歌詞が出て、自分でも驚きました。(卒業から30年以上) 昨今の小学校では、あまり歌う機会がないようで、子ども達は冷めていました。もっとしっかり教えるべきだと思います。自分の住むまちの歌を歌えるのは、なかなか良いことだと思うので。(横浜・女性・40歳代)
- 横浜マラソンの参加費が高すぎると他県ランナーから言われます。(横浜・女性・40歳代)
- 賃貸住宅向けの法整備を、より借り手を保護するようにしてほしい。神奈川県内の不動産屋さんは敷金を返してくれないところがあります。(川崎・女性・40歳代)
- 細かな行政については、わかりませんが、「県のたより」刊行物の記載内容を拝見しても、あまり印象に残りません。記載内容をよりシンプルにして、インパクトのある記載にした方が良いかと。伝えたいことが多数項目あり、難しいかと思いますが。(県央・男性・40歳代)
- 子どもを持つようになって様々な支援や活動に参加できるようになったが、多く納税している独身の方には、そのような機会がないように感じる。(川崎・女性・30歳代)
- 観光客や一部の裕福な人たちだけに環境を整えるのではなく、一般市民の生活のための環境を整えてほしい。中学校の給食問題や、マナーの悪い小学生(道路の歩き方等)の指導など、もっと子どもたちの教育や育児に力を入れて下さい。住みたくて住んでいる人ばかりではないのです。(横浜・男性・30歳代)

#### (5) 教育・子育て

- 中学校の給食、早急をお願いします。(横浜・女性・40歳代ほか類似意見9件)

- 子どもを持ってから、社会での制約や不自由さを感じるようになりました。子育て世代にもっと優しくあってほしいと思います。子どもたちがこれから成長するにつれ、教育へのますますの注力とまずは保育園の充実、待機児童対策を早急にお願いします。  
(横浜・女性・30歳代ほか類似意見6件)
- 県内他市や県外に比べ、税金が高い割に教育制度などが不十分に感じます。少子高齢化が叫ばれる昨今、子育て世帯が不自由さを感じるものが日々増えています。また、教育の地域格差が顕著で、人口の偏り（パンクする学校と過疎化する学校）が多々みられるので、教育水準の底上げが行われるよう地域開発にも積極的に関わっていただきたいです。  
(横浜・女性・30歳代ほか類似意見2件)
- 横須賀三浦地区では、交通の便が悪く、保育園も簡単に預けられない現実があります。家計的に共働きでないと厳しい上、職場の近くは保育園が少なく待機児童も多いため、子どもがほしいと思っても、子育ての環境が整っていないのが現状です。この調査を機に、県政へこのことを伝えたいと思い、筆をとりました。(横須賀三浦・女性・30歳代類似意見2件)
- ぜひ子育て支援(学校の無償化)に取り組んでほしい。(横浜・男性・50歳代ほか類似意見2件)
- 公立の小学校・中学校の給食費や医療費は無料になればよいと思います。不公平がなくて良い。(横浜・女性・60歳代ほか類似意見2件)
- 子どもの遊び場(児童公園)を、もう少し増やしていただきたい。公園があったとしても、住宅街にあると近頃は子どもの声がうるさいとか、ボール遊びするとか、様々な「しぼり」があり、子どもがのびのびと遊べていない気がする。多少居住区から離れていてもいいので、子どもが周囲の大人に気兼ねなく、思いきり遊べるような施設(公園)を整備していただきたい。それから、学校の教員が、子どもに遠慮し過ぎていて、心の通った指導ができていない気がします。教員がモンスターペアレントや問題のある子どもに毅然とした対応がとれるよう、教員の地位向上と教員を守ってあげられるような制度を充実させてほしいと思います。  
(横須賀三浦・男性・30歳代ほか類似意見1件)
- 子ども手当をいただいて、大変助かっています。保育園等への補助をさらに進めて、子どもを預けやすい環境が今よりも進めば、保育士の待遇改善や女性の社会進出が進み、県民からの県への信頼が向上するのではないのでしょうか。(横浜・男性・30歳代ほか類似意見1件)
- 一般的な所得では、現状の教育費用は子ども2人分が限界であり、少子化は必然であり、公立の教育だけでそこそこの学歴が得られる仕組みづくりを願いたい。  
(横浜・男性・50歳代ほか類似意見1件)
- 子育てしやすい環境(保育園や幼稚園など)を整備することは勿論ですが、子育て世代を温かく見守ること、社会で支えていくことなどを意識した政策を進めていただきたいです。女性が子育てしたいときは子育てができ、仕事に復帰したかったら、すぐに復帰できる。自由に選択ができる世の中になればと思います。働きたくても子どもを預けられないから働けない、なんてことのないように。(横浜・女性・40歳代ほか類似意見1件)
- 子どもを学童へ通わせていますが、学童の費用が高くて困っています。  
(横浜・男性・40歳代ほか類似意見1件)
- 公立中学校の学区について、住民の増加や住宅地の開発に伴って、以前の学区とはそぐわなくなっている地域も多いと思います。小学校については選択できる地域も出てきているので、中学校についても通学範囲を従来より広めに考え、その上で複数の中学校から選択できるようにしてほしいと思います。(横浜・女性・40歳代)

- 学校現場で働く教員からの要望をしっかりと把握してほしい。(湘南・女性・50歳代)
- 児童手当は世帯主のみの収入だけで決まるのに、高等学校等就学支援金の場合は、父母の収入合計になるのが不満です。高校から何かと学費もかかってくるし、大学進学に向けて貯金もしたいから母親も働くのに、合計で見られるため、就学支援金が受けられません。下にも中学生、小学生と子どもが複数いる家庭のことをもっと考えてほしいです。  
(県央・女性・40歳代)
- 妊活中だが、人工授精の費用が高いため、ぜひ支援策の拡大と拡充をお願いしたい。今後、ますます高齢化が進むなか、妊娠から出産までの支援の拡大は必要な課題だと思います(全国で必要)。収入があれば良いのですが、年収300万円前後での不妊治療は、家計に非常に負担となるため。(横浜・男性・30歳代)
- 大企業は若い人の雇用の際、正社員での採用、託児施設の整備等の配慮を積極的に行う。子どもを産んで育てる環境を充実することを重視し、県も早急に支援をしてほしいです。  
(横浜・女性・75歳以上)
- 知的にあまり問題のない、コミュニケーション障害等の子ども達が、小、中学校と個別級に通っていても、勉強の成績や試験次第で、高校を受験できるようにしてほしい。頑張れば高卒の資格が取れるような環境を作ってほしい。(横浜・女性・30歳代)
- 少子化に伴う県立高校の統廃合に関しては、その学校の地域的特徴や環境、特色などの広い観点で検討していただきたいと思います。高校は大学予備校にあらず、一番大切な、多感な時期であり、高校卒業後、社会人となる生徒もいます。地域と人を考慮した統合をお願いします。国際都市横須賀なのに国際科をなくす方針には疑問を感じます。  
(横須賀三浦・男性・40歳代)
- 就園奨励費の増額を希望。学校が建物・グラウンドの設置を求めた際、昔は市街化調整区域に設置することができた。その時と同じように承認できることを求める。(湘南・男性・60歳代)
- まだ小さい子どもがいるのですが、子育てにおいて茅ヶ崎市はまだまだ遅れをとっている部分があると思います。藤沢市は、日本一子育てがしやすい街と言われています。事情があり家を購入してしまったので引っ越したくてもできない状況です。茅ヶ崎市も乳児医療証を小学校六年生まで無償にしてもらいたいです。親の負担が増えると、外で働こうという意欲もなくなります。高齢者へのサービスはもう十分かと思います。(湘南・男性・30歳代)
- 待機児童については、数字のマジックではなく保護者が実感できるようにしてほしい。真摯に対応してほしいと思います。(川崎・女性・50歳代)
- 図書館が区に1つしかないのがとても不便。本の貸し出し冊数も1人6冊まで。これでは、気軽に子どもと通えません。地区センターは、新しく出た本しか買わない(新刊)という変なルールもありますし。文化を子どもたちに与えられる環境を、本気で考えていただきたいです。(横浜・女性・40歳代)
- 次代を担う青少年への学校教育は重要。それと同様に、社会教育も重要であるにもかかわらず、地域のボランティアが行う青少年団体への支援が全くない。財政的・精神的支援が望まれる。(横浜・男性・75歳以上)
- 横浜市の児童手当、小児医療費助成の所得制限の見直しをしてほしい。制限額の段階を細かくしてほしい。制限額をギリギリ越えてしまうことで、不公平感がある。  
(横浜・男性・40歳代)

- 子育てのための有休を増やしてほしい。子どもは保育園に入ると、いろいろな病気にかかるので、病院へ連れて行くためにあつという間に有休が無くなる。休みすぎると、同僚にも申し訳ない。(県西・女性・40歳代)
- 今年は保育園に入れたので評価します。ただ、日本全体で言えると思いますが、子育てはしにくいです。共働きですが、子どもが病気の時に仕事を休むと、嫌な顔されるそうです。民事不介入は理解しますが、行政からの積極的な働きかけが重要だと思います。(川崎・男性・40歳代)
- 限りある命を伸ばすことより、若い人が次世代へつながる子育て、仕事、結婚できる環境づくり。(横浜・女性・60歳代)
- 子どもセンターの幼児ルームを充実させてほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 公立の幼稚園を相模原市に増やしてほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 保健所の療育班の職員の質を上げてほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 子ども手当の額を上げてほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 小学校の学童保育が6年生まで受けられるようにしてほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 病児受け入れ可の保育所を増やしてほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 小・中学生のいじめ問題について、もっと介入してほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 高校授業料無償化について、他国籍の学校については対象から外すべきである。対象とするのであれば、日本の教育要領に沿った教育を行っている学校のみ。(横浜・男性・30歳代)
- 社会が(企業が)人を育てる世の中へ。企業→大学→高校→中学校→小学校へと負担が下りてきています。子どもへの不安を大きくし、親への負担も増え、勉強格差、貧困格差が大きくなります。(県央・女性・40歳代)
- 子どもたちの教育環境がよりよくなるよう、教育の質を上げる、教員を増やすなどしてほしいです。また、安心して子育てをできる環境になるよう、保育園を増やす(保育士の賃金を上げる)、男性の子育て参加、長時間勤務の是正、公園を増やす・整備することなどを提案します。(湘南・男性・30歳代)
- 相模原市には、整備された公園が少ないと思います。保育園・幼稚園も少ない。雨でも遊べる施設も必要(合同庁舎などの1部屋をフリースペースにするだけでも)。子ども用品などのリサイクル(フリーマーケットなど)、ガードレールの取付け、よろしくお願いします。(相模原・女性・30歳代)
- 子育て世代ですが、公立の教育に不安があり、私立小学校に通わせています。費用の面では、公立も私立も公平に補助してほしいと思います。費用を理由に教育を受ける権利が制限されてしまうのは残念です。また、医療機関で長く働いていたので、医療制度には不安がありません。両親が高齢になり、病気になった時や介護が必要になった時はもちろんですが、予防行為やいきいきと生活し社会とつながっていける毎日になるには、県政の力が必要だと思います。(湘南・女性・40歳代)
- 公立の小中学校の授業の充実を進めてほしい。今のままでは、学校だけでは十分な教育を受けられず、家庭や塾のフォローが必須である。授業時間、内容、職員配置などを見直してもらいたい。(県央・女性・30歳代)
- 児童手当など、本当に必要な家庭に支払われていない。子どもの数、年齢などをもっと考えるべき。一番お金がかかるのは中学生、高校生(塾や部活など)であると理解していないように思う。幼稚園は無料にすべき。(県央・女性・40歳代)

- 以前、マスコミでも話題になった川崎市の集団いじめによる、少年が亡くなった事件のような、青少年の育成、学校教育（家庭環境まで考えると、母子家庭等の収入を得る為の労働環境の改善まで）の充実により、痛ましい事件の起らない県政であってほしい。（相模原・男性・50歳代）
- 県教育委員会は、欠員臨任を増やしています。しかし、中学校は3年間を見通して担任、校務分掌しているため、任用期間が不安定な臨任がいる。そのため、不都合や他の人の負担が大きくなります。せめて、定数内臨任をなくしてほしいと考えています。同一学年にメンタルで休職者が出たりすると、想像を絶する負担が残った人にかかり、子どもたちにとってもよいことにはなりません。切にお願いします。（横浜・女性・60歳代）
- 安心して子育てをする環境が整っていない。東京都のように小児医療費の助成は、せめて義務教育の中学修了までは助成すべきである。妊娠、出産する際にも自己負担額が大きく、子どもを産めば産むほど家計を圧迫し、苦しくなる状況である。これでは出生率も上がらず将来に対して不安要素が大きすぎる。（川崎・女性・30歳代）
- 学校の先生の質の向上が必要。雑務を減らし教務力向上に力をいれるべき。（横浜・女性・20歳代）
- 国立の中高一貫校の設立、公立の小中一貫あるいは中高一貫の増設・開設。（湘南・男性・50歳代）
- 県立、市立高校入試は学力偏重で一部の学校の学力向上だけに特化し、中学校生活を大切に過ごしても結局は入試の5科ができる生徒だけが大切にされる感があります。高校改編が心の豊かな、人としての成長を目指すもの、そして学ぶ意欲を高めるものになっているとは感じず、魅力がありません。もっと子どもたちが伸び伸び豊かに育つ県であってほしいと感じています。登校日数＝学力向上ではないと思います。（横須賀三浦・男性・40歳代）
- 未来ある子どもたちのため、教育拡差のない制度の確立をお願いしたい。（横浜・男性・40歳代）
- 少子化はやむを得ないが、少しでも子どもが増やせる環境整備をしてほしい。（川崎・男性・60歳代）
- 高齢者への対策はとても充実しているが、未来ある子ども達に対する対策、子育て世代に対する対策をもっと充実させてほしい。（相模原・女性・40歳代）
- 乳児医療証が年収によってもらえないのですが、税金で引かれる金額を考えると、さほど手元に残らない中、子どもの病気がいくつもある我が家では、医療費がとても高いです。決まっている金額を少し超えただけで医療証がなくなり、子ども手当も特別給付ということで半額になり、厳しいのが現状です。働ける状況にある方が生活保護を受けているのを近所にいて見ていたりすると納得いかないことが多い日々です。（横浜・女性・40歳代）
- 幼稚園児への給付金が少なすぎるので、もっと多くしてほしい。入園金も東京都や埼玉県と比べて高すぎる。（川崎・女性・30歳代）
- 保土ヶ谷公園のサッカー場を子どもに使わせてほしいです。（横浜・男性・40歳代）
- 独身の人間が増えることで少子化が進んでいるので、結婚・子育ての支援に力を入れてほしい。（相模原・男性・30歳代）
- 他県には意外と多くある子どもが無料（格安）で楽しめる体験施設（工作・乗りものなど）がほとんど無い。生活するのにお金がかかりすぎる地域だと思う。（横浜・女性・30歳代）

## (6) 産業・労働

- 共働きの家庭は税金を2人で精一杯納めるが、恩恵が少なく、専業主婦（夫）の家庭が羨ましい。(横須賀三浦・女性・40歳代)
- 個人の商店が少なくなりつつあり、少々さみしいです。(湘南・女性・75歳以上)
- 勤めの人間にも副業等がしやすく、経済的な余裕を持てる支援をしてほしい。(相模原・男性・30歳代)
- フルタイム勤務で納税もし、子どもも育てている女性に対するメリットが全くないのは納得いかない。(横浜・女性・40歳代)
- 工場や大企業が県外へ移転している。雇用創出の為、企業への支援や税優遇などが必要であると思います。(相模原・女性・40歳代)
- 農林水産業の充実により、若者の就労や高齢者・障がい者の雇用や生きがい、地産地消で循環型省エネルギー社会を目指してほしいと思います。(横須賀三浦・女性・40歳代)
- 働きにくいブラック企業から職を離れましたが、34歳という年齢のため、働き口が無く、再就職に大変苦労しました。人材がいなると言いつつもまだまだ働ける世代が職を得られない社会に大変不満を持っていますし、今後、自分の老後が大変心配です。生きにくい社会をどう変えていただけるのでしょうか。(横浜・女性・30歳代)
- 中高年でベンチャーを始めたい人向けのサポート体制がほしい。(横浜・男性・60歳代)
- 農業者の高齢化により、農地が荒廃している中で、担い手の育成強化、経営が成り立つ政策が急務と考える。また、都市農業の行く末の指針、地域毎の具体的な方向性を地方行政と連携してつくってほしい。(湘南・男性・70~74歳)
- 契約社員で給与も少なく安定しない立場への不安と、これ以上雇用条件がよくなる見通しが無いのに税金は高く、暮らしに不安がある。(相模原・女性・20歳代)
- 少子化が進む以上、外国人の受け入れが今後重要になると思います。神奈川県は元々意識の高い県なのだから、率先して県職員が働き方改革をやるべきだと思います。(川崎・男性・60歳代)
- 仕事の種類に介護職というものをつけ加えていただきたい。専門職なのにサービス職のような扱いだったので、少し残念でならない。(横浜・女性・60歳代)

## (7) 県土・まちづくり

- 一部の道路は大変混雑するので、渋滞を改善してほしい。(横須賀三浦・男性・60歳代ほか類似意見5件)
- 乳母車や車イス等、駅での移動が大変です。エスカレーターではなくエレベーターの設置をお願いしたい。(横浜・男性・60歳代ほか類似意見1件)
- 利用者数に比べて電車の本数が少ないので、もっと交通の便をよくしてほしい。(相模原・女性・20歳代ほか類似意見1件)
- 高齢者が利用する交通の便を改善してほしい。バスの本数を増やすか循環バスルートを新設してほしい。(川崎・男性・75歳以上ほか類似意見1件)
- 道路整備が悪い。狭い道路なら一方通行にした方がよいのでは。(横浜・女性・60歳代ほか類似意見1件)

- 私は去年横浜に越してきましたが、中区と南区はゴミの多いまちだと思いました。また、貧富の格差が多いように思われます。東京よりも全体的に20年位遅れている感じがします。(横浜・男性・50歳代)
- 三浦地区に『道の駅』ができたらいつも思います。伊勢原市か平塚市あたりにもあればよいのに。(横須賀三浦・女性・50歳代)
- 横浜鶴見の潮風大通りの桜がだんだん少なくなって、かつての面影がなくなっています。汐入小学校側その反対側、桜並木の復活をお願いします。(横浜・女性・60歳代)
- 横浜横須賀道路の料金が高すぎます。もっと安くして下さい。(横須賀三浦・女性・20歳代)
- まちづくりなど専門家の意見だけでなく、一般人の意見を十分取り入れてほしい。例えばオリンピック施設づくりなど。(湘南・男性・75歳以上)
- 地下をリニアモーターカーが通ることが心配です。(川崎・女性・40歳代)
- 街灯を増やしてほしい。(相模原・女性・40歳代)
- 県内で労働環境や交通の利便性の格差が激しいと感じる。栄えていない地域は古いやり方をやめて、新しいものを取り入れてほしい。(県央・女性・30歳代)
- 横浜にカジノは反対。それよりも、テーマパーク的なものがほしいと思います。マンションやファッションの商業施設ばかりで面白味がない。大人と子どもが一緒に楽しめる施設があると楽しいと思います。高齢者が運動したりできるような場所もほしいです。(湘南・女性・30歳代)
- 辻堂海浜公園の利用方法をもっと考えた方がよいと思います。夏場はプールや海水浴客により駐車場は満杯だが、冬場や夜はガラガラ。せっかく自然も豊かなのに、遠くから来て、利用したくても駐車料金が高いため、利用しづらいです。里山公園のように駐車料金が無料の曜日を作っただけだと嬉しく思います。(湘南・女性・40歳代)
- 神奈中バスを毎日利用しますが、バス停に屋根やベンチを設置するなど、快適に乗車できるように環境を整えてほしい。電柱を地下に埋めるなど歩きやすい都市計画を進めて下さい。(湘南・女性・40歳代)
- 等々力運動広場や宮前スポーツセンターに公共の施設の駐車場を増やしてほしい。(川崎・男性・40歳代)
- 『渋滞の原因が横断歩行者』という交差点が多いので、歩車分離の信号機を増やして下さい。(横浜・男性・50歳代)
- 鎌倉等の歴史ある観光地も、古都の趣が活かされていない開発に思えて残念です。神奈川県のおもてなし風土を上手に活かし保存するための、県全体をコーディネートするもっとしっかりとした機関が必要なのではと思います。(横須賀三浦・女性・40歳代)
- 交通安全、道路整備において、観光地の渋滞改善と歩道ができるとよいと思います。公共施設の段差や周囲の道路が高齢者に優しいとよいです。(横須賀三浦・男性・40歳代)
- 交通量の多い県道と同等の道路、歩道と車道を区別するための側石を全て取り除いてほしい。自転車で通行する際、側石があるため、幅が狭く、非常に危険で事故を起こしやすい。(県央・女性・70～74歳)
- 東京に比べて、地下道の設備が弱い。施設間の移動が外の道では、天候の影響が大きい。横浜は、動物医療が特に進んでいると思う。県外や国外へアピールしてもよいと思う。(横浜・男性・40歳代)



- 野球やサッカーなどのグラウンドはたくさんあるが、バスケットコートやスケートパークが少ない。人工波のプールなど、もっと若い人からの意見も取り入れてほしい。活気がない。このままだと埼玉県など他県に先を越されると思う。(相模原・女性・40歳代)
- 横浜市は道路やまち並み整備、文化芸術の振興が盛んですが、他の市町村は遅れているように感じます。今後、明るいビジョンが見えません。(相模原・男性・50歳代)
- 東急東横線、日吉駅の朝の通勤通学時間の混み方が異常です。何とかしてほしい。利用客の数を考えて、地下鉄との乗り継ぎを組んでいただきたかったです。今後、相鉄線と東急線の直通運転については熟考して下さい。(横浜・女性・40歳代)
- 道路のラインや横断歩道が消えているところをいくつか見かけました。危険なので早めに引き直していただきたいです。(川崎・女性・40歳代)
- 買い物をするにも県内や住んでいる地域ではほしい商品や店がなく結局都内まで行くか通販を利用することが多いので、もっと県内の商業施設の質を高めてほしい。(相模原・女性・20歳代)
- 校舎をはじめとする公共施設の老朽化の話をききます。県と市区町村が協力して改善をしていただきたいと思います。(県西・男性・40歳代)
- 公園や道路の草木の手入れがされていないところが多いので、定期的に手入れをしてほしい。(川崎・女性・30歳代ほか類似意見1件)
- 税金を使った駅前再開発で近隣の人是不便になっている。戸塚駅周辺では一般車両を停車するスペースがない。タクシーやバスの駐車場所はいっぱいあるのに不公平である。老人の送迎ができない。一般車の駐車場所をつくってほしい。(横浜・男性・60歳代)
- 湘南地域に長く住んでおり、横浜市に引っ越しましたが、道路は狭く、歩道の整備、必要な路地にミラーが設置されておらず、とても不便に感じる。地域の財政的な理由もあるが、湘南エリアとの差がひどい。人口が多い場所であるからこそ、このような整備は早急に行う必要があるのではないのでしょうか。(横浜・女性・40歳代)
- 小さな交差点にも、右折用矢印付信号機の増設をお願いします。(横須賀三浦・男性・70～74歳)

## (8) 県政一般

- カジノ誘致には反対です。(横浜・女性・40歳代ほか類似意見7件)
- 税金が高い。(横浜・女性・40歳代ほか類似意見3件)
- 議員定数の削減(相模原・女性・70～74歳ほか類似意見1件)
- わかりやすく、クリーンな県政をお願いします。(県西・男性・60歳代ほか類似意見1件)
- 県民税の徴収額が高いのに、それに見合った県からのインフラ整備やサービスの提供を受けていないように感じる。(相模原・男性・50歳代ほか類似意見1件)
- 県民の要望にすべて応えようとするれば、これからの少子高齢化、税収減の時代にあって財政上もたないと思います。これまでやってきた事業を廃止するなど県の業務の縮小を検討することも必要ではないのでしょうか。新しいことを始めるよりも、既存の事業をやめる方が反対も多く、勇気もいることだと思いますが、長期的視点をもって県政を進めていただけるとよいと思います。(湘南・男性・40歳代ほか類似意見1件)
- 市税県民税は県内で統一するべきではないのでしょうか。(横須賀三浦・男性・60歳代)
- 区や市に比べて、県行政を身近に感じるが少ないように思う。もっと住民に寄り添う県

政を強く押し出してほしい。特に、子育て、教育、文化の面で。(横浜・女性・40歳代)

- 落ちついた県政だと感じます。しかしこれから格差が生じてくるでしょう。人が県外へ出て行かずに県内で生活できる実力をつけて下さい。鎌倉や日蓮さん、丹沢、箱根もう少し売り出して下さい。しかし、それには道路、駐車場、トイレなどの整備が必要です。県や川崎市が好きです。(川崎・男性・75歳以上)
- 行政や行政の管理職が目指すものではなく、何事においても、本質を見つめて、物事を進めて下さい。行政保守ではなく、市民ファーストの目線をお願いします。(横浜・男性・20歳代)
- 行政サービスは求めればきりがなく、より豊かな暮らしを求めたくなる一面もありますが、財源には限りがあります。県民の税金の無駄遣いと責められることもあると思いますが、どこかでバランスを取るしかないという側面もあります。未来を見ずえると若者の就業支援、労働環境改善、少子化対策等、早急に進める必要があると思います。(横浜・女性・20歳代)
- 県民と県職員が互いに信頼し合えるような関係づくり。地域に密着し、地域活動に根ざした県職員の育成。県民の安全安心に対する取組の充実。(県西・男性・40歳代)
- 政令市地方交付税を川崎市に。(川崎・男性・60歳代)
- 相模原市在住ですが、横浜市などに比べて地味なので地域活性化してほしいです。(相模原・女性・40歳代)
- 私の周りには、生活保護で毎日飲み歩いている人、母子手当をもらいながらアパート経営をし、かつ正社員で働き20万円近くも給料をもらっている人がいます。正直者がバカをみる社会をなんとかしてほしいです。市民、県民からの税金をもっとしっかり使ってほしいです。(横須賀三浦・女性・50歳代)
- 税金が高い割に無駄が多いように感じる。県も人員の削減、議員の削減・縮小、無駄な会議を無くしていただきたい。お金をかけるところが違うように感じる。雇用形態も正社員より嘱託やパート・契約・派遣という人が多く、収入が安定していない人が多いのですから、税金は、実のあるものにしてもらいたい。言葉だけの県政にならないことを望みます。(横浜・男性・50歳代)
- 行政サービスの格差(川崎区に集中しがち)解消を希望します。(川崎・女性・50歳代)
- 議会と県庁の関係を見直して下さい。(議会の間、議員の要請により遅くまで仕事をしなければならないことについてです。)その部分を直さなければ県のワークライフバランスは本当の意味でやってこないのではないかと思います。(横須賀三浦・女性・40歳代)
- 大衆迎合せず、10年先、20年先をしっかりと見ずえた行政をお願いしたい。今日明日の暮らしを少し良くするために、未来に大きな犠牲を払うようなことは絶対にしてほしくない。(横浜・男性・60歳代)
- 行政の書類手続きが全てインターネットにより自宅で行えるようになることを希望します。(横浜・男性・30歳代)
- 某国籍者のみを優遇する政策を行っているように思う。県知事にはしっかりとその辺りを対応していただきたい。(横浜・男性・30歳代)
- 県西部の人口流出対策を早急に行ってほしい。横浜市・川崎市・相模原市ばかりに目を向けている印象です。(県西・男性・40歳代)
- 市区町村に対して、より一層監督、指導等の連携を密にしていきたい。(湘南・男性・50歳代)
- 県議会の議員1人あたり月53万円の政務活動費は多すぎると思う。本当にそんなに必要なの

でしょうか。議員はボランティア扱いにし、報酬は無しでよいと思う。報酬無しの政務活動費のみでよいのでは。年2千万円の仕事をしていないのでは。それを福祉に使ってほしい。  
(相模原・女性・50歳代)

- 個人での情報発信の影響力が大きくなっていますが、小さな意見に左右されることなく、県民全体の利益を優先してほしい。特定の年代や個人への支援は民間がやればよい。神奈川県内で地域によるばらつきがなくなるようになっていくことが理想です。(湘南・男性・30歳代)
- 県内の市区町村間の格差を少しでも少なくしてほしいと思う。  
(県央・女性・40歳代ほか類似意見2件)
- 県政って、正直あまり見えてこないことが多い気がします。実施していることを、わかりやすく伝えてもらうことが必要だと感じます。(横須賀三浦・男性・40歳代)
- 黒岩知事の政策の1つとして、地球環境保護をはじめとしたテーマで取り組んでいただいているところですが、私としても最重要テーマだと感じています。これからも継続して姿勢を保ち、他に教育・子育て・少子高齢化社会問題等に対して積極的に取り組んでいただきたいと要望します。(横須賀三浦・男性・50歳代)
- カジノ誘致は賛成です。資源のない我が国ですが、素晴らしいおもてなしの精神や伝統があります。国営(県営)カジノは神奈川県をより良いものにすると思います。カジノがあるラスベガスはアメリカで一番治安が良いです。シンガポールも日本より殺人事件が少ないといわれています。神奈川県は東京都に負けないくらいの力があり、日本を支える県だと私は誇りに思っています。(横浜・女性・20歳代)
- 県政について、何を話し合いどう動いてどう行動し、その結果がどうなったのかがわからないので言う事はこれと言って無い。国会ほど内容がオープンになっていないので本当に理解できていません。もう少しオープンにしてもらえませんか。(湘南・女性・50歳代)
- 県の行政にはこれまでほとんど関心を払わずきてしまいました。しかし、どこの県であろうと、自然(資源)を大事にし、県民が健康で文化的な生活ができるよう努力してほしい。松沢知事の禁煙条例の提案は良かった(あまり徹底したものにはならなかったが)横浜市はカジノ誘致に熱心なようだが、県はこれを断念させられないのか。これまで国際交流活動の中で外国人(多くは米国)の世話をしたが、県の魅力はたくさんある。地元の産業と商業を大切にこそ、その魅力も高まるものと思っています。(横浜・男性・60歳代)
- 普通に暮らしているだけでは特に、行政に何かやってもらってありがたいと思うところはありません。市役所などで、たまに行くだけなのにイラッとする対応をされ、あまりいい思い出がありません。ホームページも県のはあまり見やすくなく、もっと子どもでも問題から回答を得られるような形式にしてもらえるとよいなと思います。東京都に暮らしていたときよりは、川崎市の方がましな気がします。川崎市は公園が多いところは良いと思っています。(川崎・女性・30歳代)
- 公務員の増員をお願いしたいです。どこへ行っても、役所は常に混んでいる。土日にやっているところが少ないので、インターネットでできる行政手続きをもっと増やしてほしい。わざわざ役所に行かなくてよくしてほしい。(湘南・男性・30歳代)
- 県・市町村議会議員の質が悪い。特に支給される手当等の不正使用が多過ぎる。又、議員報酬が、県・市町村の税金であるという認識を持ってなくなっている議員が増えたように思う。県・市町村の人口に対し、議員の数が多過ぎる。国政も同様。(横須賀三浦・男性・50歳代)

- 県民のことをしっかり考え、正しい政治をお願いします。まず第一に、安全に生活できること。その上で素晴らしい神奈川県という土地を後世に残せるよう守ること。そして、老人に優しく子ども達への教育に力を注ぐという順序であると考えます。(横浜・女性・40歳代)
- 住民票の取得等は以前のように出張所等の自動交付機発行の方が良かった。マイナンバーでコンビニ発行の方が不便。マイナンバーは信用していないのでマイナンバーカードが無い人はわざわざ区役所へ行かないと住民票が取得できなくなってしまって不便。  
(川崎・女性・30歳代)
- 県・市・区の役割の分担、領域がわからない。困ったこと、やってほしいことはどこに相談すればいいのか。県・市・区でたらい回しはよくない。(横浜・男性・60歳代)
- 国や市町村では効率性や実効性の観点から実行しにくい行政にしっかりと地道に取り組んでいってほしい。趣旨のわかりにくいアピールや奇をてらった施策は不要です。県民の生活が向上するよう税金を有効活用し、住みやすい、住んでよかったと思える神奈川県になるよう取り組んでください。(湘南・男性・40歳代)
- 現役世代が幸せに暮らせるよう、県政に力を注いでほしいです。暮らしやすくなるための施策は、あまり行われていないのではないのでしょうか。(川崎・女性・40歳代)

#### (9) その他

- 何事にも対処していただくことを願う。(川崎・女性・60歳代ほか類似意見1件)
- アンケートをとっていただくことはありがたいです。2択や5択等で答えられる内容の設定ではないものが多く、少し戸惑いました。選択していても、これが「自分の意見」とされると少々困るという感じです。大勢の意見を吸い上げるには、必要なアンケートなのだと思います。(横浜・女性・40歳代)
- 県民ニーズ調査に回答するのは初めてです。このような日常生活に密着したアンケートに協力させていただき嬉しいです。どうか県民が穏やかに安心して日々が過ごせることに、この調査が役立つことを願っています。私はかつて生活科学の研究所で仕事をしていました。お役に立てれば嬉しいです。(川崎・女性・75歳以上)
- 本アンケートの内容が非常に漠然としていて回答しづらい上に、設問に何らかの意図を感じさせる文章だった。各アンケート項目に、どういう目的があるのかを明示していただければより正確に回答できたと思う。今後、県政に関する情報へのアクセスが容易になることを期待し、より住みよいまちとなることを願っています。(県央・男性・30歳代)
- このアンケートが行政に役立つことを希望します。(湘南・男性・60歳代)
- 質問項目が多すぎる。マークシート式にした方がよい。(湘南・男性・30歳代)
- 本調査協力者に対して調査結果をフィードバックしてほしいです。また、本調査結果も含めて県政として重点的・優先的に取り組む案件について広く県民に知らせてほしいです。調査に協力したことが県政に反映されている実感があれば、施策実行時の県民の意識・協力体制も違ってくるのではないかと思います。(県央・女性・40歳代)
- この調査票の間6については「わからない」という選択肢もあってよいのではないかと。間7は抽象的すぎて、とても回答しにくい。質問の内容を自分の生活に照らし合わせて考えにくい。この答えが県政に役立つとは思えなかった。(横浜・女性・40歳代)

- 県がこのような調査を行っていることを初めて知りました。老後は県外移住を考えておりますが今後ずっと住み続けたいと思える県になってほしいと思います。(横須賀三浦・女性・60歳代)
- 初めて、アンケートに答えましたが、質問の範囲が広範かつ抽象的なので、ややとまどいました。範囲が狭まるのかもしれませんが、もう少し具体的な設問をしないと「Yes-No」の意味合いも、薄れるような気がしました。(川崎・男性・60歳代)
- 国民健康保険料が、非常に高すぎる。保険料の減額をもう少し検討してほしい。(横浜・男性・50歳代)
- これまで神奈川県政治について考えたことがなかったので、アンケートに回答することで普段の生活や神奈川県について考える時間がとれてよかったです。高齢者向けの施策などをやってほしいです。最近やっと最寄り駅にエレベーターがついて嬉しかったです。もし子どもをつくるとしたら神奈川県ではない土地で育てると思います。環境(学習面や安全面)から子育てするには不安が多いと思います。(相模原・女性・20歳代)
- 仕事が遅い。何らかの手続き・申請をして、その回答・結果は数週間後には出してほしい。(湘南・男性・60歳代)
- こういう調査をしていただけることはありがたいです。(横浜・女性・50歳代)
- 神奈川県横浜市に住んでいることに満足しています。黒岩知事には引き続き神奈川県の舵取りをお願いします。(横浜・女性・75歳以上)
- 安心して暮らしやすい県になるようにお願いします。(相模原・男性・30歳代)
- 机上の集計にとどまらず、県政に活かしていただけることを切に願います。老後に不安を抱える高齢者や、これからの将来を担う子どもたちが少しでもこの地域に住んでよかったと思えるように、県内での格差をなくしていただきたいです。(湘南・女性・30歳代)
- アンケートが複雑すぎます。やるのが大変でうんざりします。(県央・男性・30歳代)
- このアンケートを紙ではなくインターネットで回答できるようにし、アンケートに協力した際のメリット(報酬)がないと、ほとんど回答者がいないのでは。神奈川県下全店舗で使用可能な500円クーポンをプレゼントする等の回答者に報酬を出せば、もう少し回答率が上がる気がする。(横須賀三浦・男性・30歳代)
- 県民に聞くだけ聞いて、県庁の中だけの資料とにならないようにしていただきたい。県民が「変わった」と感じる施策、整備を継続的に対応願います。(横須賀三浦・男性・40歳代)
- この調査にかかった時間、お金、能力等が無駄にならないよう、お願いします。(湘南・女性・50歳代)

